

東京都立淵江高等学校 令和5年度 国語科 古文演習基礎 年間授業計画

教科・科目	国語・古文演習基礎	単位数	2	対象学年・組	3 学年選択者
使用教科書	「プログレス古文総演習標準編」い いづな書店	教科担 当者名	柴田		
使用教材	「新国語便覧」 第一学習社 「解新古典文法演習ノート」 桐原書店 「みるみる覚える古文単語」 いづな書店新国語便覧 (第一学習社)				

学期	月	予定 時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学 期	4	24	1、説話 父子の間答 2、物語 父の嘆き 3、随筆 堯運上人の話 4、日記 物語を求め 5、説話 刑部卿敦兼と妻 6、説話 河原院 7、物語 逃げた鷹	1 予習・復習のやり方を伝え、実際にやらせる。 2 古語のリズムに慣れさせる。 当時の価値観について理解させる。 3 和歌について以下の点を理解させる。 ・詠み手の判別 ・内容の把握法 ・修辞法 ・評価基準 ・古人のものの見方 4 助動詞について、実践に即した識別法を理解させる。 5 文学史的位置付けや当時の状況などを理解させる。 6 出題のねらいを理解させる。 問題の考え方と答え方を理解させる。 正解とならなかった原因を確認させる。 7 重要な語句や語法を指摘し、そののみ口語訳する。 合わせて、概略把握と口語訳の違いを理解させる。 8 敬語について、敬意の対象の判別法を理解させる。	①関心・意欲・態度 授業態度、提出物の内容など ②思考・判断 授業中の質問・意見、定期考査5回、提出物の内容など ③技術・表現 授業中の発言、定期考査5回、提出物の内容など ④知識・理解 授業中の発言、定期考査5回、提出物の内容など
	5		8、説話 笛吹き 9、随筆 太田持資 10、説話 病者を憐れむ 11、物語 八月十五日の夜 12、説話 大納言行成卿と実方中将 13、説話 惟喬親王の宴 14、随筆 心なしと見ゆる者の言 15、説話 清水寺の霊験		
	6		16、評論 風雅を語る 17、物語 うぐいすの宿 18、評論 能因法師の和歌 19、日記 三河の八橋 20、評論 文のめでたさ 21、物語 安積山 22、物語 琵琶の伝授 23、随筆 初めての宮仕え 24、物語 道長と伊周	1 学期既習の内容を踏まえ、より実践的な演習・解説授業に移行していく。 9 言葉・文法・人物・口語訳・内容・理由・指示・構図・主題の中から、何を問われているのかを理解する。 10 設問の意図やねらいを理解する。 11 設問を解くうえで、正解の根拠を本文のどこに求めたらよいかを探せるようにする。 12 選択肢問題を判断するうえでの判定点を理解できるようにする。 13 多くの文章を読み、演習を繰り返していくことで、解答の仕方に慣れていく。	①関心・意欲・態度 授業態度、提出物の内容など ②思考・判断 授業中の質問・意見、定期考査5回、提出物の内容など ③技術・表現 授業中の発言、定期考査5回、提出物の内容など ④知識・理解 授業中の発言、定期考査5回、提出物の内容など
2 学 期	9	28	25、随筆 元暦の地震 26、随筆 一むきにかたよること 27、物語 鳥飼の院 28、物語 入道死去 29、 倭建命 30、物語 親王との交遊		
	10				
	11				
3 学 期	1	14	入試問題を使用した実戦過去問題演習	期末考査まで ・1・2学期既習の内容を踏まえ、入試問題を用いた実戦演習問題に挑戦させ、知識の定着を図る。	①関心・意欲・態度 授業態度、提出物の内容など ②思考・判断 授業中の質問・意見、定期考査5回、提出物の内容など ③技術・表現 授業中の発言、定期考査5回、提出物の内容など ④知識・理解 授業中の発言、定期考査5回、提出物の内容など
	2				
	3				